

道徳教育方法研究

第3号

1997

I. 論文

1. たくましく生きる力を育てる道徳の時間の指導
—中学校道徳授業の活性化をめざして—

三宅 康文

2. 実践をもとにした「ジレンマ授業批判」分析

徳永 悦郎

2. いのちの教育の基本的方法論
—心身表現活動を通じての生きる力の自得—

山縣 明人

4. 思いやり意識の年齢差とその因子構造

田村 博久 / 金子 劭榮

5. 連想調査でおこなう道徳授業評価の実例

上藪 恒太郎 / 山本 和佳 / 佐藤 良平

II. シンポジウム 1時間の授業で子どもの何が変わるか

1. 問題提起

2. 報告者報告・論文及び全体討議の記録

- (1) 体験することと体験的に生きること

朝倉 淳

- (2) 1単位時間の授業で子どもの何が変わるか？

矢野 操

- (3) 1時間の授業で子どもの何が変わるのか

近藤 貴美子

- (4) 1時間の授業で子どもの何が変わるか

伊藤 啓一

(5) 役割演技による子どもの変容

倉田 侃司

3. 全体討議

4. 「1時間の道徳の授業で子どもの何が変わるか」についての私見

押谷 由夫

Ⅲ. 会務報告

Ⅳ. 日本道徳教育方法学会会則

Ⅴ. 『道徳教育方法研究』投稿規定・研究発表（自由課題）申込み規定

Ⅵ. 欧文サマリー

編集後記